

平成 29 年度スーパーバイザー研修 開催要綱

1. 趣旨

社会福祉施設等において、社会福祉の専門性をもって利用者の生活を支えていく援助者の育成は必要不可欠です。また、経験年数の浅い職員や他業種から福祉の職場に入ってきた職員の定着も課題となっています。

業務上の課題や不安について、後輩と先輩、同僚同士がスーパービジョンを活用し、共有し解決する取組は、職員の専門性を上げ、利用者への良質なサービスの提供につながるとともに、職員間のより良いコミュニケーションを生み、職員一人ひとりがいきいきと働く職場づくりにつながります。

その「スーパービジョン」について、理論ならびに方法と技術を学び、それぞれの施設での具体的な活用に結び付くことを目的に本研修を開催します。

2. 主催

社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会

3. 対象及び定員

県内社会福祉施設等に在勤の方のうち、次のすべての要件に当てはまる方。定員 40 名。

- ①業務管理・指導的な立場にあり、実務に従事されている方。
- ②スーパービジョンを行っている、または行う予定の方。
- ③宿題等を含めた全カリキュラムに参加できる方。

4. 日程

平成 29 年 9 月 5 日 (火) 13:00～16:30、9 月 19 日 (火) 9:30～16:30、10 月 17 日 (火) 9:30～16:30、11 月 15 日 (水) 9:30～16:45 の 4 日間 1 コース ※詳細は「8. 日程・カリキュラム」をご覧ください。

5. 会場

神奈川県社会福祉会館（横浜駅西口より徒歩 15 分程度）

6. 受講料

通常料金：26,000 円（施設会員料金：24,000 円）

7. 申し込み方法・その他

(1) 申し込み方法

①申し込みの手順

- i. 「受講申込書」に必要事項を記入してください。
- ii. 「受講申込書」をファクシミリで事務局にお送りください。
- iii. ファクシミリ送信後、必ず事務局まで送受信確認の電話を入れてください。

※ 電話確認にてお申し込み受付完了とさせていただきます。電話連絡がない場合の受付の有無については責任を負いかねます。

②締切り **平成 29 年 8 月 15 日 (火) 15 時必着**とさせていただきます。

(2) その他

①受講の可否については、平成 29 年 8 月 23 日 (水) までに、所属機関宛てに郵送でご連絡いたします。

※期日までに文書が届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。

②定員を超えた場合は、次の基準で受講決定者を調整いたします。

●受講希望理由 ●施設内優先順位

③ 受講申し込み後、キャンセルする場合は平成 29 年 8 月 31 日 (木) 15 時までにご連絡ください。

- ④ 但し、受講料入金後は、キャンセルのご連絡をいただいても返金いたしかねますのでご了承ください。
- ⑤ また、期日までにキャンセルの連絡がなく受講しない場合、受講料を請求いたします。
- ⑥ 個人情報の取り扱いについて

i. 個人情報の利用目的

本研修事業にあたり、受講者の選定及び通知等を行うため受講申込書に記載された個人情報を利用します。受講決定者については研修の効果的な実施に資するため、研修講師に情報提供を行うほか、受講者の相互交流のため、受講者に対し受講者氏名・所属等について情報提供を行います。

ii. プライバシーポリシー

本会個人情報保護方針（プライバシーポリシー）については別紙を参照ください。
 ※本会ホームページにおいても閲覧できます。

8. 日程・カリキュラム

スーパービジョンとは何か、スーパーバイザーの役割とは何かを学ぶとともに、日々の業務にスーパービジョンの要素を取り入れ、活用・実践するための考え方とノウハウについて学びます。

日程	内容	講師
9月5日(火) 13:00～16:30	スーパービジョンとは何か ● スーパービジョンの理論 ● スーパービジョンを受けた経験、スーパービジョンを実施していると思われる経験の振り返り	堀越由紀子氏 (東海大学)
宿題①：スーパービジョン計画を立てるための準備		
9月19日(火) 9:30～16:30	スーパービジョンの技術と実践のための計画作成 ● スーパービジョンで用いる技術について ● 実践するための計画作成の視点・方法	松本葉子氏 (田園調布学園大学)
宿題②：スーパービジョンの実践Ⅰ		
10月17日(火) 9:30～16:30	スーパービジョンの実践 ● 宿題②をふまえたスーパーバイザーとしての資質や力量の振り返り、および課題の整理	松澤拓也氏 (福)横須賀基督教社会館)
宿題③：スーパービジョンの実践Ⅱ		
11月15日(水) 9:30～16:45	スーパービジョンの活用と推進をめざして ● 宿題③をふまえたスーパービジョンの活用に向けた課題の整理 ● 事業所におけるスーパービジョン体制について	【事例報告者】 調整中
<スーパービジョン実践事例報告会> ～事業所の人材育成体制におけるスーパービジョンの役割を考える～ ● 本研修の受講を経て、自施設でスーパービジョンを活用している事例を複数の施設より報告 ● 報告を踏まえ、人材育成におけるスーパービジョンの役割を考えます。 ※実践事例報告会は、フォローアップ研修として過去に本研修を受講された方と受講者所属施設の施設長も参加対象とします。		

※受講決定者には、事前課題が課せられる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※本研修中に、職場内にて実際にスーパービジョンを行っていただく宿題を予定しています。詳細は研修中にご説明いたします。

9. 問合せ・申込先

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会

かながわ福祉人材研修センター 福祉研修センター

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2

TEL 045-311-1429 (月～金 8:30～17:15)

FAX 045-313-0737

E-mail kensyu@knsyk.jp

※メールでお問合せの際は、件名に「スーパーバイザー研修の件」と必ずご明記ください。



10. お知らせ

①スーパーバイザー研修フォローアップ研修<スーパービジョン実践事例報告会>の実施

過去に本研修を受講された方と受講者所属施設の施設長を対象とし、次の内容で準備を進めています。スーパービジョンを福祉現場でどのように実践しているのか、実践上の課題にどう対応しているのか等、本研修修了者の方々から実践事例を報告していただきます。受講者募集は9月ごろを予定しています。

(今年度のスーパーバイザー研修参加者は、研修プログラムに組み込まれているため参加対象者となります)

日程	内容 (予定)	講師
平成 29 年 11 月 15 日 (水) 13:30 ～16:45	<ul style="list-style-type: none"> ● 本研修の受講を経て、自施設でスーパービジョンを活用している事例を複数の施設より報告 ◇事業所・法人のスーパービジョン体制や実践において工夫していること、課題と感じていること ◇事業所・法人の人材育成体制におけるスーパービジョンの役割等 	【講師】 堀越由紀子氏 【コーディネーター】 松澤拓也氏 【事例報告者】 調整中

②「人材育成体制研修」の実施

人材育成の企画・立案・実施について権限を持つ施設長等を対象とし、次の内容で準備を進めています。

受講者募集は、平成 29 年 11 月ごろを予定しています。

日程	内容 (予定)	講師・事例報告者
平成 30 年 2 月 20 日 (水) 10:00 ～16:30	<ul style="list-style-type: none"> ● スーパービジョンの理論を学ぶ ● スーパービジョンの機能を自施設内で発揮するために、必要な体制等の環境づくりについて学ぶ。 ● 本会主催スーパーバイザー研修受講者の取組事例報告とともに、スーパービジョンを自施設内でどのように活用できるか考察する。 	【講師】 堀越由紀子氏 【事例報告者】 松澤拓也氏

③タイムズ7月号のご案内

県社協のひろばに「職員が育ち、定着する職場づくりのために～スーパーバイザー研修の成果を踏まえて～」を掲載しています(掲載内容は次ページ)。職員の育成・定着の上でスーパーバイザー研修が果たす意味合いについての記事となっておりますので、ぜひご一読ください。

職員が育ち、定着する職場づくりのために

スーパーバイザー研修の成果をふまえて

質の高い福祉サービスの恒常的な提供のために、福祉職場の人材育成・定着の取り組みがあらためて重視されています。本会のスーパーバイザー研修（以下、SV研修）は、この育成・定着を担う指導者養成の上で、大きな役割を果たしてきました。

去る6月13日、これまでのSV研修の成果を振り返りつつ、より現場に生きる研修とするため、研修協力者（講師陣）と修了者を迎えた懇談会を実施しました。

懇談会の結果を受けて、職員の育成・定着の上でSV研修が果たす意味合いについて報告します。

スーパーバイザーが 福祉職場にもたらすもの

「シフト勤務などで、職員が共通の視点で仕事する環境がづくりにくい」「どうしたら職員が同じ方向を目指し、上司と部下、あるいは先輩職員と新任職員が、お互い良い関係で仕事の質を高めていけるだろうか」―研修の参加動機を聞くと、福祉職場に共通とも言える課題があげられました。

そうした中で、SV研修に参加したことによる変化として一様に聞かれたのは、聴く耳を持ち、相手の自己覚知を促す支援スキルを身につけることができたということ。その結果、ある施設では職員から「上司が自分のことを見てくれてすごうれしかった」という声があったそうです。SV研修は、職員がこの人のもとで働き続けたと思える「上司づくり」にもなっているということでした。

質の高いサービスに向けてOJTなどは不可欠ですが、指導方法の不都合が職員の離職につながる例も多くあります。SV研修は、そうした中で、指導する立場の人材に欠かせない考え方やスキルを伝授してきたと言えます。

一方でSV研修の目指すものは、スーパーバイザーを担う指導者の育成だけではなく、それぞれの現場の日常場面でスーパーバイジョンの考え方が生かされることにあります。ある法人では、職場

内研修にSV研修の内容を取り入れ、職員間でスーパーバイジョンの必要性について共有したという報告がありました。このような取り組みを通して、職場の中での共通認識をつくっていくことや、トツプマネジメントの部分でその必要性が認識され、体制が確保されていくこと、その結果、職員の育成・定着につながっていくことの大切さなどが語られていました。

SV研修の成果が生きる 現場をつくる大切さ

魅力ある職場づくりの発信を
県内の福祉施設等関係者の声を
もとに、SV研修は内容を充実させてきました。今後も、今回の懇談会でいただいた声や実践などを入れて、現場で生かせる研修となるよう、またそれを通して、神奈川県らしい魅力ある福祉職場づくりの方向性が見えるよう、充実させていきたいと考えています。

平成29年度研修のご案内

■スーパーバイザー研修

日程：4日間1コース(9月5日(火)、19日(火)、10月17日(火)、11月15日(水))

内容：SVとは何か、SVの実践等

■人材育成体制研修

(管理者対象)

- ・1日間1コース(2月20日(火))
- ・SV実践に必要な体制等の環境づくり等

(福祉研修センター)

第41回神奈川県福祉作文コンクール 作品募集中

応募資格	県内の小学校、中学校、特別支援学校生（小学部・中学部）、フリースクール等の通学生
内容	(1)内容＝福祉について日常を通して感じたこと、考えていること、体験したこと、こうしていきたいと思っていることなど (例) ☆障がいのある方々との交流やお年寄りとのふれあい ☆地域、学校・家庭での体験 ☆福祉施設入所の方々との交流 ☆しあわせな社会をつくるため、こうしていきたいと考えていること ☆赤い羽根共同募金の活動に参加して感じたことなど (2)題名＝自由 (3)字数＝小学生 B 4判400字詰め原稿用紙を使用し、1,000字以内 中学生 A 4判400字詰め原稿用紙を使用し、1,800字以内
締切日	平成29年9月8日(金)
応募先	学校ごとに、県共同募金会の各市区町村支会内「福祉作文コンクール事務局」へ送付してください
問合せ先	(福)神奈川県共同募金会 ☎045-312-6339 本会地域福祉推進部地域福祉推進担当 ☎045-312-4815